

みちづくし ^{11/28金} - ^{11/29土}

道守九州会議交流会 鹿児島2008



「世代、時代をつなぐ道。」



みちづくしin鹿児島2008
実行委員会委員長
田島 直美氏



道守九州会議代表世話人
樗木 武氏



主催／みちづくしin鹿児島2008実行委員会
後援／国土交通省九州地方整備局・鹿児島県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・
鹿児島市・福岡市・北九州市・九州幹線道路協議会・西日本新聞社・佐賀新聞社・長崎新聞社・
熊本日日新聞社・大分合同新聞社・宮崎日日新聞社・南日本新聞社・
(財)鹿児島県建設技術センター・(社)日本道路協会・(社)九州建設弘済会
協力／九州電力

道守とは・・・



「道」を舞台に、あるいはテーマに、さまざまな活動を行っている人々を私たちは「道守」と名付け、その行動を「道守活動」と呼んでいます。
「道守九州会議」は、九州各地で「道」に関する活動を行うNPOや市民団体、企業、研究機関、行政、個人等で構成する任意団体です。
道路行政機関や自治体と連携し、民と行政との「協働」を基本に活動しています。



道守九州会議交流会 2008 大会宣言

篤姫も、西郷どんも歩いたこの道に想いを馳せる。
時代を越え、いにしへの浪漫を今に伝える「道」。
子供からお年寄りまで一緒になってこの道を愛しむ。
世代を越え、人々の笑顔が集う「道」。
わたしたち道守は、この時代、世代をつなぐ道を、
これからも大切に守りつづけます。
そして、次の時代、次の世代へとつなげていきます。



みちづくしin鹿児島2008
実行委員会 副委員長
吉野 千代子氏

2009年開催地の 「道守みやざき会議」へ 引き継がれた大会旗



お問合せ・連絡先

道守かごしま会議事務局

〒895-0012 鹿児島県薩摩川内市平佐町1768
TEL 0996-22-2335 FAX 0996-22-1540

道守ホームページ <http://www.michimori.com/>
E-mail <michimori@michimori.com>

「かごしま風景街道」体験学習

指宿コース

- 道の駅「喜入」前 記念植樹
- 篤姫ゆかりの地
- いぶすき篤姫館 ※2009年1月12日で閉館
- 瀬平海岸公園
- 道の駅「いぶすき」



鹿児島市内コース

- 石橋記念公園
- 篤姫生誕地
- 南洲公園
- 薩摩義士碑
- 鶴丸城跡
- 城山公園(城山展望台)
- 西郷洞窟
- 篤姫館(ドルフィンポート内) ※2009年3月31日で閉館



2日目は「日本風景街道」の風景づくりとして、現地体験学習「かごしま風景街道」が「指宿コース」と「鹿児島市内コース」の2班に分かれて実施されました。

参加者は「指宿コース」が36名。「鹿児島市内コース」が81名。合計117名の参加がありました。



「指宿コース」は、沿道への植樹を自ら体験することにより、風景づくりへの愛着を育むことを景観整備を兼ねた目的とし、記念植樹を行いました。

▲道の駅「喜入」前にて記念植樹



▲篤姫ゆかりの地(町割の町並)



▲植樹後に記念撮影



▲瀬平海岸公園



▲宮ヶ浜港防波堤(捍海隄)



▲石橋記念公園

「鹿児島市内コース」は、西南戦争の舞台(城山決戦の場)や西郷隆盛が埋葬されている南洲公園・篤姫に関する展示館(篤姫館)を見学しました。



▲西郷洞窟(西郷隆盛銅像)



▲城山展望台からの風景



▲篤姫生誕地



▲南洲公園



▲道守九州会議代表世話人 榎木 武氏よりご挨拶

11月28日(金)

交流会

■オープニング

- 主催者挨拶
みちづくしin鹿児島2008実行委員長 田島 直美
道守九州会議代表世話人 榎木 武
- 来賓挨拶
国土交通省九州地方整備局長 岡本 博
(代理/国土交通省九州地方整備局 道路部長 野口 宏一)
鹿児島県知事 (代理/鹿児島県副知事 伊藤 祐一郎 飯屋 基美)
鹿児島市長 (代理/鹿児島市副市長 森 博幸 山本 克也)

■基調講演

「篤姫の生きた時代の街道」
講師 鹿児島大学 法文学部 教授 原口 泉

■第1部 活動報告会

各県別に道守活動報告

■第2部 活動報告会

世代別に道守活動報告

■「大会宣言」

みちづくしin鹿児島2008実行副委員長 吉野 千代子

「道守九州会議」全体会議 交流集会

11月29日(土)

現地体験学習「かごしま風景街道」

- 指宿コース
- 鹿児島市内コース

九州7県の道守各県会議の会員が一同に会し情報交換や交流を行なう『みちづくしin鹿児島2008』(道守九州会議交流会)が、2008年11月28日、29日の二日間にわたり鹿児島市内において開催されました。

今回のテーマは「世代、時代をつなぐ道」で、約三〇名の道守会員が集い、交流会、交流集会、現地体験学習などを通して、道について語り合い交流を深めました。

29日の体験学習では、2コースに分かれ、鹿児島市内の篤姫生誕地や西郷隆盛ゆかりの地等の見学、指宿コースでは道の駅「喜入」前にて記念植樹を行いました。



▲九州各地からたくさんの方に出席していただきました。

みちづくし
鹿児島 2008

世代を越え、
これからのみちづくりとは何か?

交流集会

基調講演、活動報告会等に引き続き交流集会が行われました。実行委員会副委員長高木章次氏（鹿児島国道事務所長）の挨拶で始まり、アトラクションとして地元鹿児島からの日本舞踊や薩摩川内おどり太鼓・奄美島唄等が披露され、出席者も踊りに参加されるなど会場は盛り上がり交流も深まりました。



盛り上がったアトラクション



奄美島唄



薩摩川内おどり太鼓（篤姫）



日本舞踊



▲道守かごしま会議



▲道守ふくおか会議



▲道守大分会議



▲道守佐賀会議



▲道守長崎会議



▲道守みやざき会議



▲道守くもと会議

オープニング

主催者を代表して『みちづくし in 鹿児島2008』実行委員会委員長の田島直美氏、道守九州会議代表世話人樗木武氏の挨拶に引き続き、来賓として国土交通省九州地方整備局道路部長野口宏一氏、鹿児島県副知事飯屋基美氏、鹿児島市副市長山本克也氏からそれぞれ挨拶をいただきました。

また、2日目の現地体験学習で体験植樹に使用する植樹の目録が九州電力株式会社執行役員鹿児島支店長梶原正博氏から田島実行委員長に手渡されました。



鹿児島市副市長
山本 克也氏



鹿児島県副知事
飯屋 基美氏



国土交通省九州地方整備局
道路部長 野口 宏一氏



▲九州電力株式会社様よりヒラドツツジ1,000本の他さつき・つばきなど計2,000本を御提供していただきました。

基調講演



講師：原口 泉氏

・1947年鹿児島市生まれ。
・米国ネブラスカ州立大附属ハイスクールと鹿児島県立甲南高校卒業。
・東京大学文学部国史学科卒業。
・同大学大学院終了。
・鹿児島大学法文学部助手、講師、助教授を経て、1988年より教授。
・同大学生涯学習教育研修センター長兼務。
専門は日本近代・近代史。特に、沖縄・北海道・韓国等、東アジア諸地域とのつながりの中で、南九州と薩摩藩の歴史研究に取り組む。
NHK大河ドラマ「飛ぶが如く」や「琉球の風」、2008年に放送された「篤姫」の時代考証を担当。

「篤姫の生きた時代の街道」

原口教授は2008年に放送されたNHK大河ドラマ「篤姫」の時代考証を担当されており、演じている役者さんのエピソードも加えながら、篤姫の人生を通して、街道との関係に触れながら話は進められました。

例えば、今年の流行語は「一本道」で決まりではないか。篤姫の「女の道は一本道。定めに背き引き返すは恥にございます。」やノーベル賞受賞の南部先生の「研究の道は一本道。」など。

また、篤姫の旅は全て陸路であり、当時の東海道は男街道（中仙道が女道）と云われていたが、篤姫は東海道を通過して江戸に行った話。また、道を使用するのは道の3分の1の「道は三分」や擦れちがうときの「肩引き」あるいは「傘かしげ」など、道の使い方やマナーのしつけが、江戸時代には子供のころからきちんとされていたお話などをされました。

そういった意味では、道守活動は『世代、時代をつなぐ道。』として子供の教育の舞台になると考えられます。また、そういう場が重要ではないでしょうか！



第1部 活動報告会

各県別に道守活動報告

第一部活動報告会は、各県独自のアイデアによる風土・歴史などの特色を生かした道との関わり方を報告しました。



佐賀

大きな夢への小さな一歩！ 美しい町は多久市から



▲多久市そうじの会 山崎 昌治 氏・瀬川 武雄 氏
多久市全域に活動範囲を広げて活動を実施。平成20年11月からは「安心安全パトロール」も開始。「継続は力なり。」これからも1000回の清掃活動を目指してがんばっていきます。

熊本

城下町の歴史を活かした 地域資産としての町屋活用の可能性



▲新町古町・町屋研究会(仮称) 宮本 茂史 氏
熊本市内に残る町屋の歴史と現状調査・意向アンケート調査などの研究活動を報告。町屋の存続の重要性と危機的状況にあることを内外に訴え、その中の可能性のある物件について具体的な利活用の推進に取り組んでいきたい。

大分

マイツリー活動レポート



▲道守大分会議事務局 木下 結理 氏
自分達が植樹した樹木の成長を見守り育てる「マイツリー活動」での交流と清掃活動の報告。毎回仲間が増えて大分を代表する活動になっていきますが、個人的にも次の世代につないでいきたいと考えています。

鹿児島

薩摩街道保存活動



▲薩摩街道保存会 福山 征志 氏・吉留 博文 氏
市民参加型の保存会を立ち上げ実施した薩摩街道(出水筋)での道標や案内板の設置活動や街道散策のイベント・毎年実施している街道の草刈り等を報告。この道を守っていくことで人と人とのきずなをつなぎ歴史や文化を後世に継承していけるようにこの活動を続けていきたい。

福岡

道守たちの風景づくり



▲ごみゼロ青春探検隊まえばる 酒井 忠彬 氏
道の清掃美化活動報告と糸島風景づくり(玄海灘風景街道)として活動する「糸島魅力みつめ隊」の取り組み内容を報告。今後も玄界灘風景街道・糸島地区みらい遺産・そうつくまちプランづくりに邁進します。

長崎

長崎大学の道守養成による 地域再生について



▲長崎県土木部建設企画課 総括課長補佐 山口 正則 氏
道路構造物の老朽化に伴い重要になる維持管理の為の人材養成の試みとして長崎大学で取り組まれている道路構造物の診断ができる「道守」養成ユニットを紹介。住民参加で地域の「道」を健全に維持し、長寿命化するシステムをつくり「地域を活性化」することを期待する。

宮崎

夕日の里づくりと道守活動～ 意識の開発による地域づくり



▲道守みやざき会議世話人 根岸 裕孝 氏
「開発なき開発、開発すべきは住民意識」というキーワードで地域づくりが行われている姶野内地区の取り組み状況を報告。大型バスもアクセスできない地域だが道路整備を待つだけでなく、25kmの清掃など自ら地域を磨く取り組みの中で、交流をもたらず道の大切さや地域の宝や誇りを再認識できた道守活動といえる。

まちなかプレーパーク と道守活動



▲宮崎大学(学生) 橋口 慶太 氏・橋本 典明 氏
宮崎市街地の真ん中に人が行き交う遊び場を作り出し、子供の遊びを通じて中心市街地や地域社会の活性化を目指す活動報告と通りを利用した学童保育により、通りの可能性を広げる地域のコミュニティ活動の報告。

第2部 活動報告会

世代別に道守活動報告

第二部報告会では、鹿児島県の世代別の代表から道との関わりを紹介しました。

鹿児島市立大龍小学校 次代につなぐふるさと道



▲岡元 浩亮 くん・森 彩夏 さん・白川 翔 くん・松山 万里菜 さん

鹿児島県立鹿屋高等学校 鹿屋高校奉仕活動報告



▲五反田 麻矢 さん・内倉 かおり さん

さつま町久富木公民館 過疎、少子高齢化、僻地での道守



▲末永 忍 氏

鹿児島市立大龍小学校の生徒代表のみなさんからは日ごろの活動が紹介されました。学校自体も史跡(大龍寺跡)で、地域周辺には篤姫の生誕地や南洲神社など多くの史跡や観光地が点在している歴史と文化につつまれた学校ということもあり、常日頃から景観を意識した道の清掃活動を行っています。全校ボランティアでの清掃を通じて声をかけてくれる街の人とのつながりは嬉しく、こうしたボランティア活動は先輩たちから引き継いだものであり、後輩にしっかりと引き継いでいきたいと報告されました。

鹿児島県立鹿屋高等学校の生徒代表のみなさんからは、全校生徒で取り組んでいる年3回のごみ拾い活動とインターアクト同好会として行っている学校周辺の定期的なごみ拾い活動とゴミの量調査についての報告がありました。また、鹿児島県と宮崎県のインターアクト同好会で年1回開催している年次大会の今年のテーマは「共生」で、国際・環境・福祉の観点から自分たちでできることを考え、実施されたベトボトルのキャップ回収等の報告や地域の施設訪問や募金活動等の報告もありました。

さつま町久富木公民館の末永忍さんからは、沿道景観維持のための草刈りや枝払いの他に、高齢者の健康増進と児童・生徒の瞬発力・持久力の育成のために早朝ウォーキングを実施。相乗効果として実施している空き缶・ごみ拾いは、3年前までは毎日実施してきたが、最近では、ごみも少なくなり、現在は週2回実施になり、児童・生徒の情操教育にも役立っていると報告されました。また、老人クラブの組織率は60.5%と高く、子供育成会とタイアップして各主要道路沿いに花壇を造成する花の道活動も報告されました。

「道守九州会議」 ～全体会議～

平成19年度の事業報告と20年度の事業計画案や今後の活動報告等について意見を交換しました。

会議風景 ▶

